

6.4 長期休暇モード

連続して64時間以上2週間以内の範囲で装置を使用しない場合は、以下の手順に従って長期休暇モードにします。長期休暇モードでは、プリントヘッドのノズル面の乾燥を避けるため自動でメンテナンス動作が実行されます。そのため、主電源を落とさないでください。

注 記

機械を使わない時間が2週間以上続く場合は、プリントヘッドを機械から降ろして保管する必要があります。サービス保守会社に連絡し、作業を依頼してください。

重 要

長期休暇モードへ移行する際にも、PC停止状態と、データ待ち受け状態を選択することができます。データ待ち受け状態では、SCP-PCおよびIMP-PCを起動状態のままとすることで、ジョブデータを受信できる状態にしておくことができます。

データ待ち受け状態からPC停止状態に移行することはできますが、PC停止状態からデータ待ち受け状態に移行することはできません。

データ待ち受け状態については、「6.3データ待ち受けモード」を参照してください。

6.4.1 長期休暇モードへの移行前準備

注 記

長期休暇モードでは以下のことを守ってください。

- 必ずドアを閉めてください。
長期休暇モード時にドアを開けたままにすると、安全スイッチが感知しヘッドクリーニング動作が実行されません。マシン周囲にドアを閉めた状態を保つよう表示して注意喚起するなど、まわりの方に周知してください。もしもドアを開けてしまった場合はすぐに閉めてください。
- 非常停止ボタンを押さないでください。
休暇中に非常停止ボタンを押すとメンテナンス動作が実行されません。マシン周囲に非常停止ボタンを押さないよう表示して注意喚起するなど、まわりの方に周知してください。もし、押してしまった場合は、すぐにボタンを解除して、主電源そばのリセットスイッチを押してください。これにより動作を復帰できます。
- 長期休暇モード時に停電があった場合は、停電回復後に“長期休暇後の立ち上げ”操作を行ってください。
- 停電時にはバックアップ電源によりプリントヘッドのノズル面清掃動作が1回だけ働きます。しかし、その後の定期的なメンテナンス動作は実行されなくなるため、そのまま放置するとノズル面が乾燥して吐出性能が悪化します。
- 長期休暇モード中は環境温度を5℃以上に保ってください。
長期休暇モード時に環境温度が5℃以下になると、定期的なヘッドクリーニング動作が正常に働かない場合があります。そのため、以下のいずれかの対応を行ってください。
 - 5℃以下にならないように空調管理を行う。
 - 長期休暇モードを設定せず、3日に一度は立ち上げ立ち下げ作業を行う。（ただしこの場合でも機械を動作させるときは環境温度を上げてください。）
 - プリントヘッドを降ろして0℃以上の環境で保管する。（サービス保守会社への作業依頼）
- 環境温度が0℃以下になる可能性がある場合は、上記に加え、凍結に備えてプリントヘッドを降ろし、各液抜きを行う必要がありますので、サービス保守会社までご連絡ください。

1 安全確認	2 機械概要	3 印刷前準備	4 キャリブレーション	5 印刷	6 終業作業	7 詳細印刷設定	8 消耗品と消耗部品の交換/補給	9 メンテナンス	10 停電時の対処
-----------	-----------	------------	----------------	---------	-----------	-------------	---------------------	-------------	--------------

長期休暇モードにする手順を以下で説明します。

1. 清掃などの定期メンテナンス作業を行います。

 定期メンテナンス作業については「9 メンテナンス」を参照してください。

2. シリンダを回転させて機内に用紙が残っていないことを確認します。
3. 液供給タワーの表示パネルにあるランプを確認します。インク各色とヘッド洗浄液、ヘッド保湿液がRefillReady状態（白色ランプ点灯）またはNearEmpty状態（青色ランプ点灯）の場合は対象の液を補給します。

インク各色とヘッド洗浄液、ヘッド保湿液の補充方法の詳細は以下を参照してください。

 「8.2.3 インク/ヘッド洗浄液/ヘッド保湿液の補給」

4. ヘッドクリーニングウエブの残量をチェックします。少ない場合は交換します。
ウエブ残量は、約半分が残っていることが目安です。

注 記

ウエブ残量がなくなると以降のヘッドクリーニング動作ができなくなりますのでご注意ください。

 ヘッドクリーニングウエブの交換については、「8.2.6 ヘッドクリーニングウエブの交換」を参照してください。

5. インク廃液タンクを確認します。インク廃液が入っている場合は、インク廃液を捨て、空のインク廃液タンクを用意します。

 インク廃液タンクの交換方法は「8.2.5 インク廃液タンクの交換」を参照してください。

補 足

インク廃液タンクが満タンを検知すると以降のヘッドクリーニング動作が行われなくなるために必要な手順です。

6. 操作画面上部の[P-SAVE]選択ボタンを押します。



PC停止状態にする場合は、[システム終了]を実行します。

データ待ち受け状態にする場合は、[データ待ち受けモード]を実行します。

重要

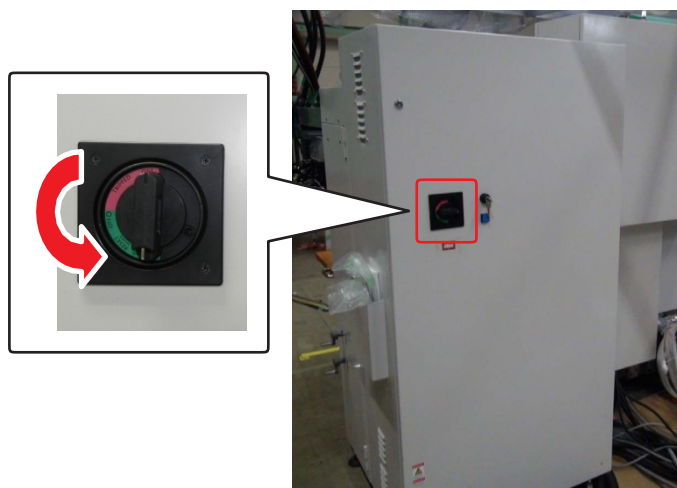
- 長期休暇モードへ移行する際にも、データ待ち受け状態と、PC停止状態を選択することができます。データ待ち受け状態では、SCP-PCおよびIMP-PCを起動状態のままとすることで、ジョブデータを受信できる状態にしておくことができます。

データ待ち受け状態からPC停止状態に移行することはできますが、PC停止状態からデータ待ち受け状態に移行することはできません。

 データ待ち受けモードの方法については、「6.3 データ待ち受けモード」を参照してください。

- 長期休暇モードを使用するときは、[プレコンディショニングユニットクリーニング]と[終業時クリーニング]は必ず実施してください。

7. 本体の主電源を切ります。



8. 圧空供給設備（お客様準備）を停止させ、本体への圧空供給を止めます。

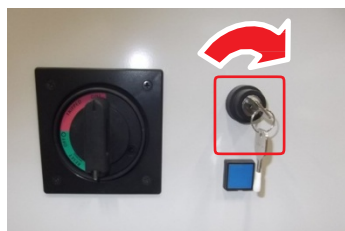
9. 排気設備（お客様準備）を停止させます。

重要

- 長期休暇モード時に、インクの温度を保つためインクチャラーの運転は続けてください。

6.4.2 長期休暇モードへの移行

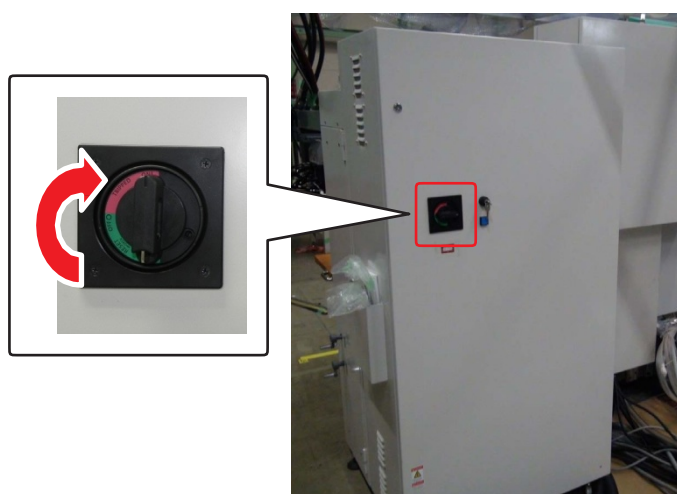
1. 主電源スイッチの隣にあるLTSスイッチに付属の鍵を差し、右に回して「長期休暇モード」に切り替えます。



2. LTSスイッチから鍵を抜きます。
3. 主電源のスイッチをオンにします。
長期休暇モードに入ります。

注 記

主電源をオフにすると、内部処理が終了するまで時間がかかります。30秒以上待ってから主電源スイッチをオンしてください。また、バックアップ電源によってヘッドクリーニング動作が働く場合があります。動作音を確認し、動作が終わるまで待ってからシステム始動をしてください。動作終了まで最大2分程度かかります。



補 足

データ待ち受け状態を選択した場合は、長期休暇モード中でも、IMP-PCおよびSCP-PCの電源は入っており、データ待ち受け状態になっています。長期休暇モード中に、ジョブ登録する予定がない場合は、手順4の後で、IMP-PCおよびSCP-PCの電源を切ることができます。

4. 画面上で長期休暇モード表示になることを確認します。



5. 1回目のヘッドクリーニングが実行され、画面の情報欄に「長期休暇モード中です。」が表示されることを確認します。



6.4.3 長期休暇後の立ち上げ

ジェットイングシリンダ前面のドアを開閉して、プリントヘッドのイニシャライズ動作音（ブー音が2回）がすれば、正常な待機状態です。

もしも音がしなければ、停電などの影響でその後の動作を停止してしまった状態です。その場合、定期的なヘッドクリーニングが実施されていないためプリントヘッドのノズル面が乾燥してノズル性能が悪化している可能性があります。

以下の手順を実施しても印字状態が改善しない場合は、サービス保守会社に連絡してください。

注 記

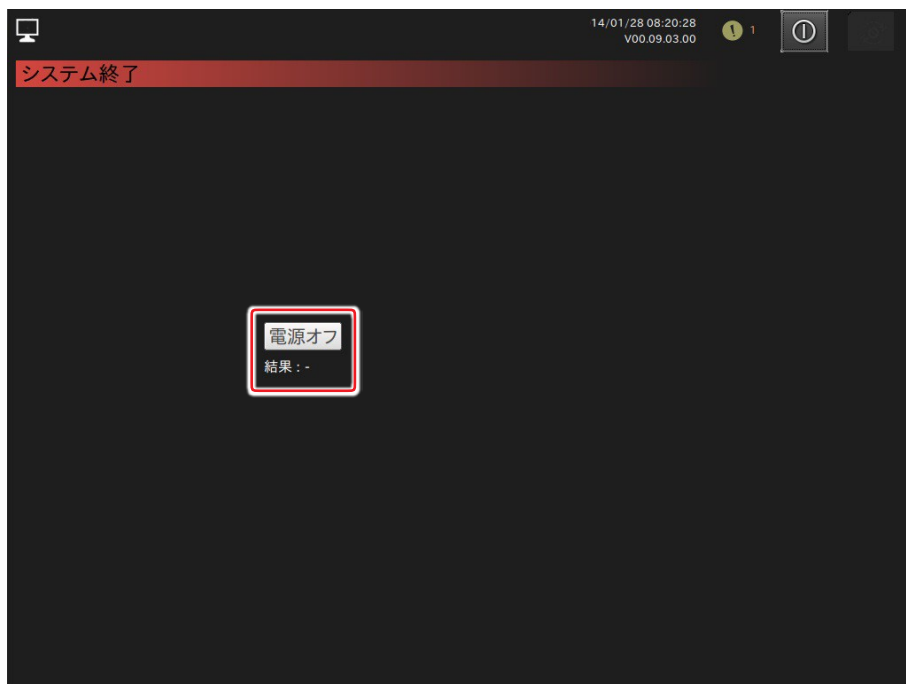
作業前にジェットイング部オペレータサイドのプリントヘッド稼働ランプの状態を確認してください。点滅していれば、所定時間ごとのヘッドクリーニング動作中で、プリントヘッドが移動している動作音がします。消灯するまでお待ちください。（最大15分）

長期休暇モードの終了

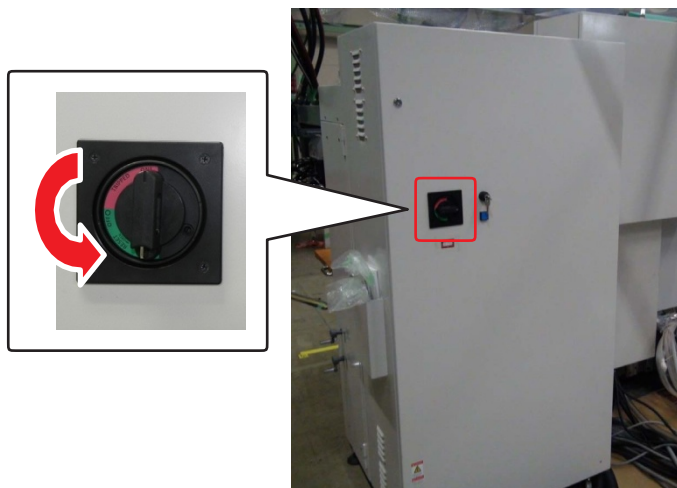
1. 長期休暇モード画面の右上の電源ボタンを押します。



2. システム終了画面が表示されるので、[電源オフ] ボタンを押します。



3. 本体の主電源をオフにします。



4. 主電源スイッチの隣にあるLTSスイッチに付属の鍵を差し、左に回して通常モードに切り替えます。



5. LTSスイッチから鍵を抜きます。

長期休暇モードからの再立ち上げ

1. 始動前点検を行います。

注 記

主電源をオフすると、内部処理が終了するまで若干時間がかかります。30秒以上待ってからシステム始動を行ってください。また、バックアップ電源によってヘッドクリーニング動作が働く場合があります。動作音を確認し、動作が終わるまで待ってからシステム始動をしてください。動作終了までは最大2分程度です。

 始動前点検については、「[3.1 始動前点検](#)」を参照してください。

2. システム始動を行います。

注 記

インク・ヘッド洗浄液・ヘッド保湿液・ヘッドクリーニングウエブがNearEmptyまたはEmptyを検知している場合は、所定の操作を行って補給・交換してください。

インク廃液タンクが満タンを検知しているときは、所定の操作を行ってインク廃液を処理してください。

重 要

データ待ち受け状態からの始動の際は、SCP-PCおよびIMP-PCの立ち上げは不要です。データ待ち受けモードについては、「[6.3 データ待ち受けモード](#)」を参照してください。

 システム始動方法については、「[3.2 システム始動](#)」を参照してください。

 インクカートンの交換、ヘッド洗浄液とヘッド保湿液の補給については、「[8.2.3 インク/ヘッド洗浄液/ヘッド保湿液の補給](#)」を参照してください。

 インク廃液タンクの交換については、「[8.2.5 インク廃液タンクの交換](#)」を参照してください。

 ヘッドクリーニングウエブの交換については、「[8.2.6 ヘッドクリーニングウエブの交換](#)」を参照してください。

3. 立ち上げ後に印字状態が悪い場合は、ヘッドクリーニングの「ハードクリーニング」を実行します。

注 記

「ハードクリーニング」を実施すると、印字結果が変わることがあります。

NCP（NozzleCheckPrint）やACP（AutoCalibrationPrint）で補正を行った後にハードクリーニングを実行した場合は、必要に応じて再度NCP・ACPを実行してください。

 「ハードクリーニング」の実行方法は、「[9.16.3 ヘッドクリーニング](#)」を参照してください。

 NCP、ACPの実行方法は、「[5.3.4 補正印刷](#)」を参照してください。

補 足

長期休暇後の立ち上げ直後は、印字状態が回復するまでにヘッドクリーニングを複数回実施することが必要な場合があります。印字状態が回復しない場合は、「ハードクリーニング」を複数回実施してください。

「ハードクリーニング」を6回以上実施しても印字状態が改善されない場合は、故障の可能性がありますのでサービス保守会社に連絡してください。